

大船渡市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

| 区 分 | 住民基本台帳人口 (令和7年1月1日) | 歳出額 A | 実質収支 | 人件費 B | 人件費率 B/A | (参考) 令和5年度の人件費率 |
|-----------|------------------------|------------------|---------------|-----------------|-------------|--------------------|
| 令和 6年度 | 人 32,059 | 千円 22,684,881 | 千円 711,047 | 千円 3,346,025 | % 14.8 | % 15.1 |

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

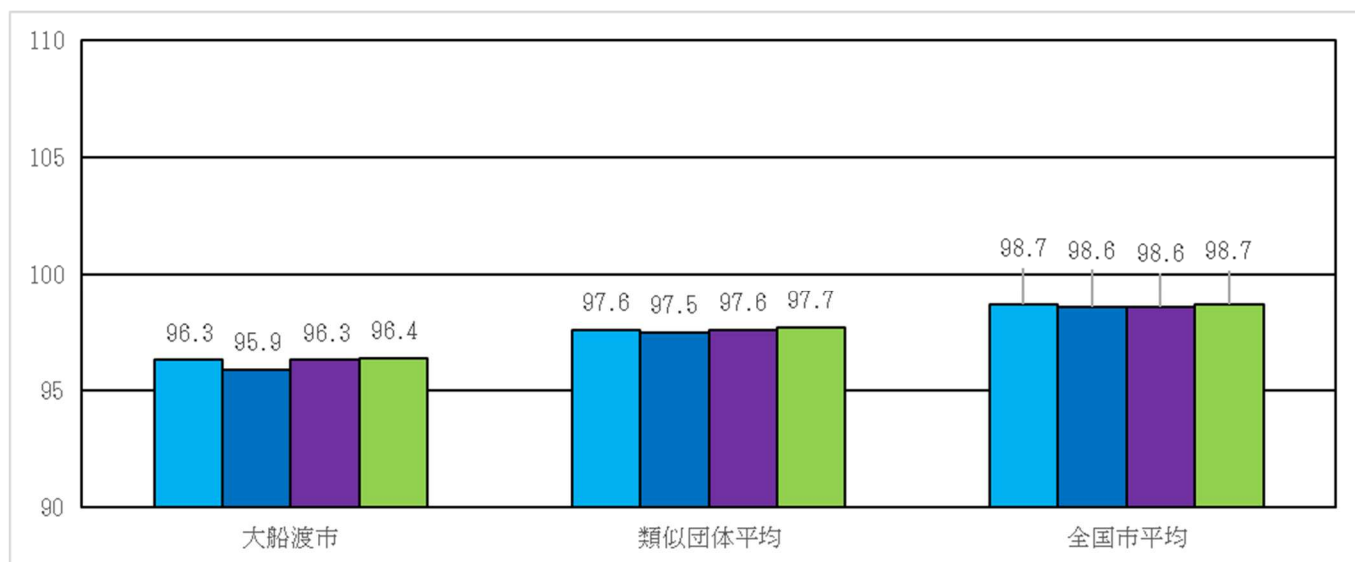
| 区 分 | 職員数 A | 給 与 費 | | | | (参考)一人当たり給与費 B/A | (参考)類似団体平均 一人当たり給与費 |
|-----------|----------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|---------------------|------------------------|
| | | 給 料 | 職員手当 | 期末・勤続手当 | 計 B | | |
| 令和 6年度 | 人 325 | 千円 1,178,891 | 千円 237,605 | 千円 492,307 | 千円 1,908,803 | 千円 5,873 | 千円 6,004 |

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数については、令和6年4月1日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）、定年前再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含まない。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）及び定年前再任用短時間勤務職員の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

(3) ラスパイレス指数の状況



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

2 () 書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給割合を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給割合) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給割合) により算出。)

3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

4 ラスパイレス指数（地域手当補正後ラスパイレス指数を含む）の算出に当たっては、60歳に達した日後の最初の4月1日以後に支給される給料月額について、本来の給料月額の7割水準に設定される職員を除いている。

※ 令和7年4月1日のラスパイレス指数が、①3年連続で上昇している場合、②100を超えている場合について、その理由（給与制度又はその運用を踏まえ記載すること）

該当なし

(4) 社会と公務の変化に応じた給与制度の整備（給与制度のアップデート）の実施状況について

【概要】国家公務員給与においては、行政職俸給表(一)において3級から7級までの初号近辺の号俸をカットし、これらの級の初号の俸給月額の上上げを行うとともに、8級から10級の隣接する級間での俸給月額の重なるの解消等を行っている。その他、各種手当について見直しを行っている。

①給料表の見直し [実施]

実施内容（実施（実施予定）時期、具体的な実施内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）令和7年4月1日

岩手県の見直し内容を踏まえ、3級から7級までの初号近辺の号給をカットし、これらの級の初号の給料月額の上上げを実施。

②地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

市内全域が支給対象外地域となっている。

③その他の見直し内容

扶養手当、管理職員特別勤務手当について、岩手県と同様に見直しを実施。また、人事院及び岩手県人事委員会の勧告において大船渡市が寒冷地支給手当の対象地域となったことから基準日に在職する職員に寒冷地手当を支給するよう条例の整備を実施。（令和7年4月1日実施）

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（令和7年4月1日現在）

① 一般行政職

| 区分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|------|--------|-----------|-----------|--------------------|
| 大船渡市 | 43.5 歳 | 327,100 円 | 392,197 円 | 345,641 円 |
| 岩手県 | 42.4 歳 | 321,300 円 | 399,404 円 | 360,341 円 |
| 国 | 41.9 歳 | 332,237 円 | — | 414,480 円 |
| 類似団体 | 42.3 歳 | 325,941 円 | 386,178 円 | 355,674 円 |

② 技能労務職

| 区分 | 公務員 | | | | | 民間 | | | 参考 |
|---------|--------|---------|-----------|-------------|--------------------|-----------------|--------|-------------|------|
| | 平均年齢 | 職員数 | 平均給料月額 | 平均給与月額 A | 平均給与月額 (国比較ベース) | 対応する民間 の類似職種 | 平均年齢 | 平均給与月額 B | A/B |
| 大船渡市 | 54.3 歳 | 22 人 | 326,100 円 | 352,409 円 | 336,373 円 | — | — | — | — |
| うち学校用務員 | 53.2 歳 | 12 人 | 339,700 円 | 366,133 円 | 356,733 円 | 運搬・清掃・包装等従事者 | 49.0 歳 | 219,600 円 | 1.67 |
| 岩手県 | 51.4 歳 | 217 人 | 303,400 円 | 333,526 円 | 319,553 円 | — | — | — | — |
| 国 | 51.3 歳 | 1,703 人 | 294,567 円 | — | 337,907 円 | — | — | — | — |
| 類似団体 | 51.7 歳 | 12 人 | 299,324 円 | 330,782 円 | 311,434 円 | — | — | — | — |

| 区分 | 参考 | | |
|---------|---------------|-------------|------|
| | 年収ベース（試算値）の比較 | | |
| | 公務員 C | 民間 D | C/D |
| 大船渡市 | — | — | — |
| うち学校用務員 | 6,182,096 円 | 2,993,400 円 | 2.07 |

- (注) 1 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。
(令和4年～6年の3ヵ年平均)
- 2 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。
- 3 年収ベースの「公務員C」及び「民間D」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(2) 職員の初任給の状況（令和7年4月1日現在）

| 区分 | | 大船渡市 | 岩手県 | 国 |
|-------|-----|----------|----------|----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 215,100円 | 227,300円 | 220,000円 |
| | 高校卒 | 189,300円 | 195,800円 | 188,000円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | 193,800円 | 193,800円 | — |
| | 中学卒 | — | — | — |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（令和7年4月1日現在）

| 区分 | 学歴 | 経験年数10年 | 経験年数20年 | 経験年数25年 | 経験年数30年 |
|-------|-----|----------|----------|----------|----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 278,500円 | 332,300円 | 370,400円 | 381,000円 |
| | 高校卒 | 253,200円 | 323,000円 | — | 375,800円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | — | — | — | — |
| | 中学卒 | — | 275,400円 | — | — |

(注) 1 一般行政職（高校卒）の経験年数25年に相当する該当者はいない。+

2 技能労務職（高校卒）に相当する該当者、技能労務職（中学卒）の経験年数10年、25年、30年に相当する該当者はいない。

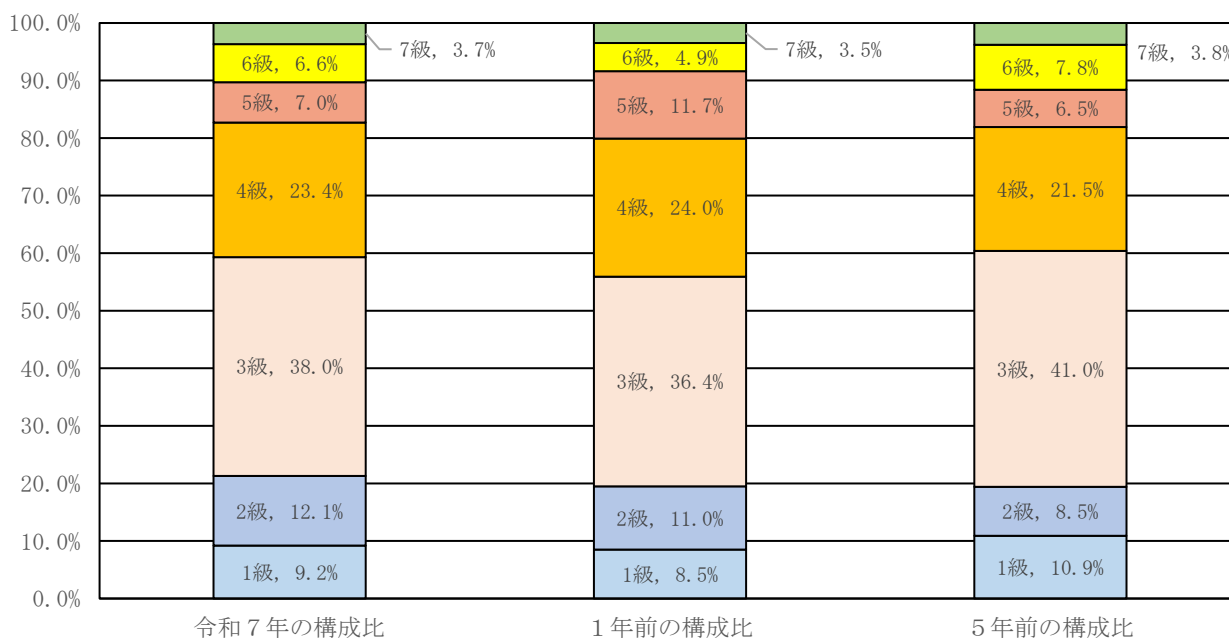
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（令和7年4月1日現在）

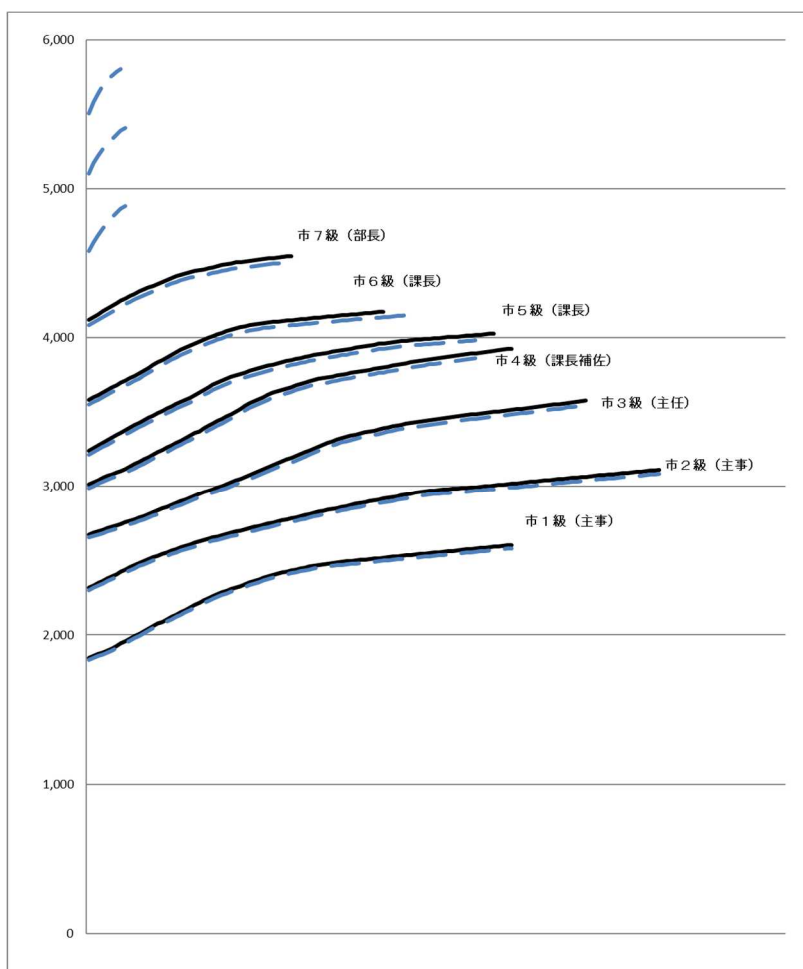
| 区分 | 標準的な職務内容 | 職員数 | 構成比 | 1号給の給料月額 | 最高号給の給料月額 |
|----|---------------|------|--------|----------|-----------|
| 7級 | 部長、教育次長 | 10人 | 3.7% | 411,900円 | 454,800円 |
| 6級 | 課長、事務局長 | 18人 | 6.6% | 358,300円 | 417,400円 |
| 5級 | 課長、課長補佐、主幹 | 19人 | 7.0% | 324,000円 | 402,700円 |
| 4級 | 課長補佐、主幹、係長、主査 | 64人 | 23.4% | 301,300円 | 392,700円 |
| 3級 | 係長、主査、主任 | 104人 | 38.0% | 267,400円 | 357,800円 |
| 2級 | 主事、技師 | 33人 | 12.1% | 231,700円 | 311,200円 |
| 1級 | 主事、技師 | 25人 | 9.2% | 184,800円 | 260,300円 |
| | 計 | 273人 | 100.0% | | |

(注) 1 大船渡市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和7年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（一般行政職）（大船渡市）

| 令和6年度中における運用 | 管理職員 | | 一般職員 | |
|-----------------|---------|-----------|---------|-----------|
| | 昇給可能な区分 | 昇給実績がある区分 | 昇給可能な区分 | 昇給実績がある区分 |
| イ. 人事評価を活用している | ○ | | ○ | |
| 活用している昇給区分 | 昇給可能な区分 | 昇給実績がある区分 | 昇給可能な区分 | 昇給実績がある区分 |
| 上位、標準、下位の区分 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 上位、標準の区分 | | | | |
| 標準、下位の区分 | | | | |
| 標準の区分のみ（一律） | | | | |
| ロ. 人事評価を活用していない | | | | |
| 活用予定時期 | | | | |

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 大船渡市 | 岩手県 | 国 |
|--|--|--|
| 1人当たりの平均支給額 (令和6年度) 1,554 千円 | 1人当たりの平均支給額 (令和6年度) 1,858 千円 | — |
| (令和6年度支給割合) 期末手当 2.50 月分 勤勉手当 2.10 月分 (1.40)月分 (1.00)月分 | (令和6年度支給割合) 期末手当 2.50 月分 勤勉手当 2.10 月分 (1.40)月分 (1.00)月分 | (令和6年度支給割合) 期末手当 2.50 月分 勤勉手当 2.50 月分 (1.40)月分 (1.00)月分 |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～15% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25% |

(注) ()内は、暫定再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況（一般行政職）（大船渡市）

| 令和7年度中における運用 | 管理職員 | | 一般職員 | |
|-----------------|----------|------------|----------|------------|
| イ. 人事評価を活用している | ○ | | ○ | |
| 活用している成績率 | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 |
| 上位、標準、下位の成績率 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 上位、標準の成績率 | | | | |
| 標準、下位の成績率 | | | | |
| 標準の成績率のみ（一律） | | | | |
| ロ. 人事評価を活用していない | | | | |
| 活用予定時期 | | | | |

(2) 退職手当（令和7年4月1日現在）

| 大船渡市 | | | | 国 | | | |
|---------------------------------|-----------|-------------|--|-----------------------------------|-----------|-------------|--|
| (支給率) | 自己都合 | 応募認定・定年 | | (支給率) | 自己都合 | 応募認定・定年 | |
| 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 | | 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 | |
| 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 | | 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 | |
| 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.709月分 | | 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.709月分 | |
| 最高限度 | 47.709月分 | 47.709月分 | | 最高限度 | 47.709月分 | 47.709月分 | |
| 調整率 | 83.7/100 | | | 調整率 | 83.7/100 | | |
| その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（3%～45%） | | | | その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（割増率2～45%） | | | |
| 1人当たり 平均支給額 | | | | - | | | |
| 11,897 千円 | | | | | | | |

（注）1 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和6年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当（令和7年4月1日現在）

| | | | |
|--------------------------|------|---------|------------|
| 支給実績（令和6年度決算） | | 0 千円 | |
| 支給職員1人当たり平均支給年額（令和6年度決算） | | 0 円 | |
| 支給対象地域 | 支給割合 | 支給対象職員数 | 国の制度（支給割合） |
| 支給対象地域なし | - % | 0 人 | 0 % |

(4) 特殊勤務手当（令和7年4月1日現在）

| 支給実績（令和6年度決算） | | 984千円 | | |
|--------------------------|----------|----------|-------------------|--------------|
| 支給職員1人当たり平均支給年額（令和6年度決算） | | 23,249 円 | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合（令和6年度） | | 13.7 % | | |
| 手当の種類（手当数） | | 12種類 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 支給実績 （令和6年度決算） | 左記職員に対する支給単価 |
| 賦課徴収手当 | 税務担当職員 | 税の賦課・徴収 | 450千円 | 月額2,200円 |
| 保険業務手当 | 保健師及び看護師 | 検査・検診業務 | 194千円 | 月額2,000円 |

(5) 時間外勤務手当

| | |
|----------------------------|------------|
| 支給実績（令和6年度決算） | 149,874 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（令和6年度決算） | 513 千円 |
| 時間外勤務等総時間数（令和6年度） | 43,039 時間 |
| 職員1人当たり年間平均時間外勤務時間数（令和6年度） | 117 時間 |
| 支給実績（令和5年度決算） | 109,184 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（令和5年度決算） | 368 千円 |
| 時間外勤務等総時間数（令和5年度） | 47,314 時間 |
| 職員1人当たり年間平均時間外勤務時間数（令和5年度） | 128 時間 |

（注） 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（令和6年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む

(6) その他の手当 (令和7年4月1日現在)

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績 (令和7年度決算) | 支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和7年度決算) |
|--------|--|----------|---|-------------------|----------------------------------|
| 扶養手当 | 1 配偶者=3,000円 2 子=1人につき 11,500円 ※満16歳年度から 満22歳年度までの子 1人につき =5,000円加算 2 父母等1人につき =6,500円 | 同じ | — | 30,439千円 | 224,005円 |
| 住居手当 | 借家・借間に居住する職員 (ア) 家賃が月額 23,000円以下 =家賃-12,000円 (イ) 家賃が月額 23,000円超 =(家賃-23,000 円)÷2+11,000円 ※27,000円を限度 | 異なる | 借家・借間に居 住する職員 ①家賃が月額 27,000円以下 =家賃-16,000円 ②家賃月額 27,001円～ 60,999円 =(家賃-27,000円)× 1/2+11,000円 ③家賃月額 61,000円以上 =28,000円 | 15,701千円 | 288,741円 |
| 通勤手当 | 1 交通機関を利用して通勤 =運賃に応じ最高月額 55,000円まで 2 自家用車などで通勤 =通勤距離に応じ最高 51,500円まで | 異なる | 1 最高月額 150,000円まで 2 自家用車な どで通勤 =通勤距離に 応じ最高 38,700円まで | 19,543千円 | 83,537円 |
| 管理職手当 | 1 部長級 =給料月額の12% 2 課長級 =給料月額の10% | 異なる | 管理又は監督の地位に ある職員に支給 (月額46,300～ 139,300円) | 19,271千円 | 520,818円 |
| 単身赴任手当 | 月額30,000円 距離に応じて 8,000円～70,000円を加算 | 同じ | — | 912千円 | 456,000円 |

5 特別職の報酬等の状況（令和7年4月1日現在）

| 区 分 | | 給 料 月 額 等 | |
|------|--------|---------------------|--|
| 給料 | 市区町村長 | 816,000 円 | (参考) 類似団体における最高/最低額 |
| | 副市区町村長 | 675,000 円 | 980,000 円 / 525,700 円 794,000 円 / 495,700 円 |
| 報酬 | 議長 | 392,000 円 | 530,000 円 / 327,000 円 |
| | 副議長 | 339,000 円 | 470,000 円 / 279,000 円 |
| | 議員 | 320,000 円 | 450,000 円 / 259,000 円 |
| 期末手当 | 市区町村長 | (令和6年度支給割合) | |
| | 副市区町村長 | 3.45 月分 | |
| 退職手当 | 市区町村長 | (令和6年度支給割合) | |
| | 副市区町村長 | 3.45 月分 | |
| 退職手当 | 市区町村長 | (算定方式) | (1期の手当額) (支給時期) |
| | 副市区町村長 | 給料月額×40.38/100×在職月数 | 15,816千円 任期ごと |
| | | 給料月額×23.28/100×在職月数 | 7,543千円 任期ごと |

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

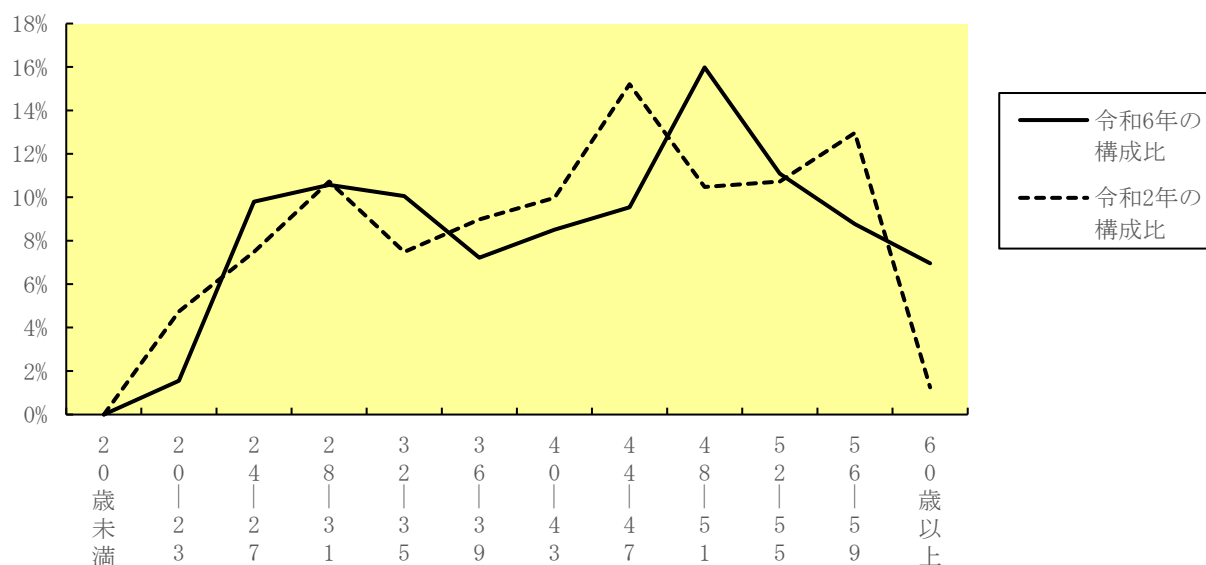
(各年4月1日現在)

| 部 門 | | 職 員 数 | | 対 前 年 増 減 数 | 主 な 増 減 理 由 | |
|-----------------|-------------|---------|---------|----------------|---|--|
| | | 令和7年 | 令和6年 | | | |
| 普 通 会 計 部 門 | 一 般 行 政 部 門 | 議 会 | 4 | 5 | -1 | 人事異動時期変更に伴う一時的な減 体制強化等に伴う増 人事異動時期変更に伴う一時的な増 年度途中の人事異動に伴う減 人事異動時期変更に伴う一時的な増 |
| | | 総務 | 101 | 96 | 5 | |
| | | 税務 | 21 | 20 | 1 | |
| | | 民生 | 56 | 56 | 0 | |
| | | 衛生 | 16 | 16 | 0 | |
| | | 労働 | 1 | 1 | 0 | |
| | | 農林水産 | 27 | 29 | -2 | |
| | | 商工 | 18 | 18 | 0 | |
| | 土木 | 41 | 38 | 3 | | |
| | | 計 | 285 | 279 | 6 | <参考> 人口1万当たり職員数 88.90 人 (類似団体の人口1万当たりの職員数 70.52 人) |
| | 教育部門 | 46 | 46 | 0 | | |
| | 小 計 | 331 | 325 | 6 | <参考> 人口1万当たり職員数 103.25 人 (類似団体の人口1万当たりの職員数 90.75 人) | |
| 公 営 企 業 計 等 部 門 | 病院 | 8 | 9 | -1 | 退職者の代替職員に会計年度任用職員を任用したことによる減 業務見直しによる国保部門の減 | |
| | 水道 | 16 | 16 | 0 | | |
| | 下水道 | 11 | 11 | 0 | | |
| | その他 | 22 | 24 | -2 | | |
| | 小 計 | 57 | 60 | -3 | | |
| 合 計 | | 388 | 385 | 3 | <参考> 人口1万当たり職員数 121.03 人 | |
| | | [444] | [444] | | | |

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（令和7年4月1日現在）



| 区分 | 20歳未満 | 20歳～23歳 | 24歳～27歳 | 28歳～31歳 | 32歳～35歳 | 36歳～39歳 | 40歳～43歳 | 44歳～47歳 | 48歳～51歳 | 52歳～55歳 | 56歳～59歳 | 60歳以上 | 計 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------|
| 職員数 | 0人 | 6人 | 38人 | 41人 | 39人 | 28人 | 33人 | 37人 | 62人 | 43人 | 34人 | 27人 | 388人 |

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

| 部門別 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年 | 過去5年間の増減数(率) |
|----------|------|------|------|------|------|------|--------------|
| 一般行政 | 265 | 272 | 272 | 290 | 279 | 285 | 20 7.5% |
| 教育 | 74 | 73 | 70 | 44 | 46 | 46 | △28 △37.8% |
| 普通会計計 | 339 | 345 | 342 | 334 | 325 | 331 | △8 △2.4% |
| 公営企業等会計計 | 62 | 64 | 62 | 62 | 60 | 57 | △5 △8.1% |
| 総合計 | 401 | 409 | 404 | 396 | 385 | 388 | △13 △3.2% |

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

| 区分 | 総費用 A | 純損益又は 実質収支 | 職員給与費 B | 総費用に占める 職員給与費比率 B/A | (参考) 令和5年度の総費用 に占める職員給与費 比率 |
|-----------|-----------------|---------------|--------------|---------------------------|--------------------------------------|
| 令和 6年度 | 千円 1,005,064 | 千円 0 | 千円 77,407 | % 7.7 | % 9.7 |

(注) 資本勘定支弁職員に係る職員給与費〇千円を含まない。

| 区分 | 職員数 A | 給 与 費 | | | | 一人当たり 給与費 B/A | (参考)類似 団体平均 一人当たり給与費 千円 |
|-----------|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------|----------------------------------|
| | | 給 料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | | |
| 令和 6年度 | 人 16 | 千円 63,638 | 千円 10,219 | 千円 25,816 | 千円 99,673 | 千円 6,230 | 千円 6,316 |

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
 2 職員数については、令和6年3月31日現在の人数である。
 3 職員数及び給与費については、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）及び定年前再任用短時間勤務職員を含み、会計年度任用職員を含まない。

イ 特記事項

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況（令和7年4月1日現在）

| 区分 | 平均年齢 | 基本給 | 平均月収額 |
|-----------|--------|-----------|-----------|
| 大船渡市水道事業所 | 47.0 歳 | 341,184 円 | 526,991 円 |
| 団体平均 | 45.8 歳 | 337,221 円 | 524,813 円 |

- (注) 1 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。
 2 平均年齢の団体平均は、会計年度任用職員を含んで算出している。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

| 大船渡市水道事業所 | 団体平均 |
|--|--|
| 1人当たり平均支給額（令和6年度） 1,715 千円 | 1人当たり平均支給額（令和6年度） — 千円 |
| （令和6年度支給割合） 期末手当 2.50 月分 勤勉手当 2.10 月分 （1.40）月分 （1.00）月分 | （令和6年度支給割合） 期末手当 — 月分 勤勉手当 — 月分 （—）月分 （—）月分 |
| （加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～15% | （加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 |

(注) ()内は、暫定再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（令和7年4月1日現在）

| 大船渡市水道事業所 | | | | 団体平均 | | | |
|----------------------|-----------|-------------|--|---------------------|------|---------|---|
| （支給率） | 自己都合 | 応募認定・定年 | | （支給率） | 自己都合 | 応募認定・定年 | |
| 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 | | 勤続20年 | — | — | — |
| 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 | | 勤続25年 | — | — | — |
| 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.709月分 | | 勤続35年 | — | — | — |
| 最高限度 | 47.709月分 | 47.709月分 | | 最高限度 | — | — | — |
| その他の加算措置 | | | | その他の加算措置 | | | |
| 定年前早期退職特例措置（3%～45%） | | | | 定年前早期退職特例措置 | | | |
| 1人当たり平均支給額 11,847 千円 | | | | 1人当たり平均支給額 7,848 千円 | | | |

- （注）1 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和6年度に退職した職員が3人以下かつ過去2～3年の退職者がいないことから4(2)と同額を記載する。
- 2 「応募認定・定年」のうち「定年」には、定年退職及び定年引上げ前の定年年齢に達した日以後その者の非違によることなく退職した場合を含む。

ウ 地域手当（令和7年4月1日現在）

支給していない

エ 特殊勤務手当（令和7年4月1日現在）

| 支給実績（令和6年度決算） | | 145,030 千円 | | |
|--------------------------|--------------|------------|-------------------|--------------|
| 支給職員1人当たり平均支給年額（令和6年度決算） | | 24,172 円 | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合（令和6年度） | | 37.5 % | | |
| 手当の種類（手当数） | | 4 種類 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 支給実績 (令和6年度決算) | 左記職員に対する支給単価 |
| 水道料金徴収手当 | 水道事業の業務を行う職員 | 水道料金の徴収業務 | 54千円 | 月額 1,700 円 |
| 停水処分従事手当 | 水道事業の業務を行う職員 | 停水処分の業務従事 | 91千円 | 1件 300 円 |

オ 時間外勤務手当

| | |
|------------------------|----------|
| 支給実績（令和6年度決算） | 4,859 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（令和6年度決算） | 442 千円 |
| 支給実績（令和5年度決算） | 4,557 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（令和5年度決算） | 404 千円 |

- （注）1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。
- 2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（令和6年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（令和7年4月1日現在）

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 一般行政職の制度との異動 | 一般行政職の制度と異なる内容 | 支給実績 (令和6年度決算) | 支給職員1人当たり平均支給年額 (令和6年度決算) |
|------|----------|--------------|----------------|-------------------|------------------------------|
| 扶養手当 | | 一般行政職と同じ | | 1,869 千円 | 169,885 円 |
| 住居手当 | | 一般行政職と同じ | | 648 千円 | 216,000 円 |
| 通勤手当 | | 一般行政職と同じ | | 970 千円 | 69,257 円 |